

部落解放同盟草津市協議会との懇談会

日時：平成28年11月15日（火）19時30分～21時40分

場所：橋岡会館

内容：5つの差別事象について

出席者：

部落解放同盟草津市協議会：21名

草津市人権政策課：4名

発言者	発言内容
議長	<p>お忙しい中ご苦勞様でございます。今日は人権政策課と懇談会をもたせていただくことになりました。皆さんの思いをお互いが話し合わなければわかりませんので、言葉にしてください。どれだけ差別を受けても、同じ人間なんですよ。ともにやろうとしてきて、差別がなくなる現実を、どう私たちが解決するのかということ。今日は言葉にいただきまして、9時をめぐりにしているんですけども、できるだけ早く終わってと思う。もやもやとして帰らずに、きっちりとしつかりと答えていただけたら、ありがたいと思う。良い懇談会になるようお願いします。</p>
部長	<p>日頃は市の人権政策の推進にあたりまして御支援と御協力をいただきまして、ありがとうございます。また同和問題をはじめ、地域の課題解決に向けて、積極的な取り組みをいただいておりますことを厚くお礼申し上げます。本日の懇談会でございますけれど、地域の思いや願いをお聞きする場、また同和問題の解決に向けました話し合いの場ということで、限られた時間でございますが、率直な意見交換が出来ればと考えております。</p> <p>今後も、差別のない明るい社会の実現に向け取り組んでいきたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願い申しあげまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは、議題に入りまして、5つの差別事象についてなんですが、順番にお願いします。</p>
支部員	<p>5件差別事象が出ているのは、2014年からの差別事象をはじめ、それ以前からいろんな形で出てきている。それをどう捉えているのか。同対法は部落解放同盟が作ったのではなく、行政が差別をなくすために作った。同対法ができて成果はあったが、意識がまだまだ変わってないから、まだまだ出てくる。これをどのように捉えているのか。そのうちに消えていくやろという考えなのか、ど真剣にひとつずつ差別事象の起こっている原因を追究して、きちんと整理していこう気持ちがあるのか。そこらを、懇談しながら聞いていきたいと思う。</p>
部長	<p>今お話いただきましたように、最近多くの差別事象が発生しています。未だに、このような間違った認識が市内で散見することは、行政としても非常に残念であると感じています。これから5つの差別事象についてお話をさせていただきますが、市民や団体等に対しての人権意識の向上の部分がまだまだ必要であり、今後ともさらに啓発やいろんな活動ができるような取り組み、連携を深めながら進めていきたいと思っております。</p>
支部員	<p>啓発を進めていくことは、やっていかないといけないと思う。今日まで行政一本で</p>

	<p>やってきたことではなく、運動団体ときちんと考えながら、部落差別をなくすという思いの中で啓発してきた。ひとつは、やはりもっと運動団体と協力していくとか、前向きな姿勢が今はない。そうでなかったら、この問題はいくらでもでてくる。部長が言うように、ひとつずつ経過を聞いていきたい。それでいいですか。</p>
課長	概要説明
支部員	いつ集約できるのか。
課長	現在とりまとめを進めているところでございまして、極力早くしたいと考えております。
支部員	これ5月やろ、もう11月で5か月は過ぎているのに、できていないのは、どういうことかと思う。まだ最中やと年度越してしまっ来年度になるかな、そういう雰囲気になる。たんとすみやかにやらないと、日がたつとぐずられてしまう。
課長	昨年以前に発生した事件につきましては、関係機関等と調整する中で少し保留をしていた状況等もございました。全体的に整理が遅れているところもございしますが、決して、年度で人が変わったからそれでもいいわというつもりで進めているということではございませんので、ご了解いただきたいと思ひます。
支部員	5か月もたつてまだ整理ができないと本当に誠意をもってやっているのか。この中でも気持ちが出てくる。本当に誠意はどこにあるのか。今日11月15日もっとがんばって、早く整理して、その努力を見せてくれたら。僕らの思いは、差別をなくそうという誠意があるなら、どの事象でもたんと早いこととやんなあかんと思う。5つの差別事象を放置していたとしかとれない。目標をもって、いつまでになんとかしようと、努力を見せてほしい。それは相手のこともあると思うが、下手すれば、相手も忘れていないのか。
議長	来年の8月で丸2年になります。やろうと思えば3か月でできることや。ええ加減で気持ちがない。私らにしたら、痛みである。動いていくということは、そのことに対して、あなたたちが怒りをもって本当にやれているのか。一般の人が受けているというがそれでいいのではない。気持ちがあればやれる。12月はできますか、無理やったら3月頭には報告出来るようにちゃんとやってもらえますか。
部長	調整の方が遅れていまして、申し訳ございません。今お話いただきましたように、3月までには見解等をとりまとめ、報告させていただきたいと思ひます。

議長	<p>よろしくお願ひします。本部会議をしたということは、あなたの課だけの問題ではなく、すべての課が知っているはずである。これを知らない課がある。何のために本部会議をするのか、これは本庁みんなで取り組もうや、同和問題や部落差別、あらゆる差別をなくそうということで、本庁の接客から何から何まで関連している。本部会議をしたことは、各課までおろさないといけない。他の課が何も知らない。だから差別がなくなるのは、行政の怠慢である。</p>
課長	<p>次の概要説明</p>
議長	<p>私は子どもには再度聞き取りはしないと申しましたが、企業啓発7月はどうでしたか。</p>
課長	<p>企業啓発につきましては、今年度、時期的に間に合いませんでしたので、次年度以降、どういう取り組みができるのか、労政担当部局と連携しながら調整していきたいと考えております。</p>
議長	<p>なぜ7月に間に合わないのか。そんなことを言っていたら、来年の7月にも間に合わないと言われる。すべてにやろうという気がない。企業啓発に変えたのなら、早く動かないといけない。10人以上の対象を、商労と話をしていないで、同対本部会議で話をしたらよい。これも早く、やろうと思えば、早くできる。</p>
支部員	<p>きちんと企業啓発をしないとけない。会社全体や企業の差別性もあるかもしれない。他の会社でも差別が出てしまう可能性もある。そのことを食い止めていくことも啓発である。草津市が受けてやってくことが大事であり、会社に向けての企業啓発を重視し、草津市として前向きに同和問題として取り組みを進めていることを見せしていくことも必要である。できるだけ早く解決してほしい。</p>
議長	<p>言われた子どもはどんな思いをしているかわからないだろう。人の命がかかっている事もよく考えて、行政というものは本当にどう考えているのか。</p>
部長	<p>報告会をさせていただいて、聞き取りの内容等まだ不足している部分があるということで、再度、内容を確認させていただいたところです。本部会議では報告させていただいた。</p>
議長	<p>今後、子どもには一切ふれないでほしい。</p>
支部員	<p>こんな大事なこと、子どもの命がかかっている。子どもの将来がかかっているので、行政の取り組み方が日に日に伸びていくと、聞き取りが一日のびると言葉が変わっ</p>

	<p>てくる。引き継ぐときには、きっちりとこのような問題があって、このようにしていかないといけないなどきっちり行ってください。将来ある子どもが心に傷を持ったまま大人になってしまう。その事も考えているのですか。私達は子どもや孫に二度と差別を受けさせたくないということで年をとっても頑張っています。そのことをわかってほしい。そのこともふまえて、この事件を解決に向けてど真剣に考えてほしい。この事をきちんと引き継いでほしい。お願いします。</p>
部長	<p>将来ある子どもを中心として、支部とも連携しながら、市としても企業啓発の動きが遅いと指摘をうけましたが、きちんと取り組んでいきたいと思えます。</p>
支部員	<p>正月に子どもの聞き取りがあったが、5月ぐらいでこの話がストップしたままですが、話があわないのではないかと。</p>
課長	<p>先ほど話しましたが昨年度以前に起こった事件の3件については関係機関等、相談しながら取り組みを進めてきたところです。保留ということで、関係機関から意見があった点をふまえながら、現在に至っているというのが実情です。私は、事件は速やかに解決していかないといけないと思っております。この事件については、まず子どもの将来というのを大事にしながら、企業啓発の手法については丁寧に慎重に進めていきたいと考えております。昨年度までの3つの事件を同对本部会議で整理させていただいたというのは、市として人権政策課としてほっておくつもりではなかったという思いであり、御理解していただきたい。ただ関係機関との調整の中で現在に至っているというのが実情ですけれど、遅くなっているところは、お詫びを申し上げるところです。</p>
支部員	<p>お詫びはほしくない。日がたちすぎると、ほっておかれていると思う。聞き取りをすぐにいけばよかったのに、何か月もほっておいたのが問題である。</p>
議長	<p>聞き取りのやり方が悪く逆効果を起こしたことは、行政として反省してください。された子どもには一切聞き取りはしない。啓発にかえてください。啓発はいつでもできます。企業啓発を早く、どのような形でもできるはずですよ。</p>
課長	<p>次の概要説明</p>
議長	<p>学区の人達の方が動いている。こんなことで行政はどうするのか。過去の事例でも私達が悪い事になってしまう。我々の先輩がこの会館を建てた目的を忘れずに行きたい。これは私達の責任ですか。地域の責任ですか。部落の会館に行かなくてもいい、手伝わなくてもいいと言うか。なんの意識も変わってないしひどくなって</p>

	いく。
支部員	行政側として、正しく理解して認識してもらおう啓発が一番大事だと思う。地域だけの問題ではない。他の地域でも、このようなことが起こった時、相手に正しく理解してもらおう事が一番大事である。行政が取り組んでいるのは、一般の人と肩を並べて、正しく理解と認識してもらい、正しいことを言っていこうと、草津市は動いている。私らもそれに向かって運動している。その人を啓発してもらおう役目をしてもらわないといけない。当地域では、同推協で話をしたり、市民センターのふれあいまつりで啓発しているが、言葉は勝手に独り歩きする。生まれ育っただけでこういう差別を受ける。どんな辛い思いで話しているかわかってほしい。
支部員	たくさんのお話が出てきましたが、市の考え方、今後の進め方を実際の声で聞きたい。
部長	反省なり、正しく理解してもらおうことがまだまだ出来てない部分があり、そのことによって、差別意識の助長というのですか、誤った認識を広げてしまう原因にもなりかねない。その行為者についても反省なり正しく理解してもらい、まだまだ拡散していくということになりますので、深刻に受け止めている。学区同推協にも動いてもらっているが、市の方が進んでいないことは申し訳ない。市としても、なんらかの形で取り組んでいきたいと思っています。
支部員	きれいごとばかり言っていてはあかん。市民に対して説明して理解してもらおうのは誰が担当ですか。責任をもって担当してくれるのは誰ですか。教えてください
部長	人権については、人権政策課を中心にやっておりますので、私がおそのトップですので、今の課を中心として、差別事象等、今までの課題の取り組みが遅いといたしていますが、これからは早急に取り組む進めたいと思っています。
支部員	この場で責任をもって言ってください。きれいごとではなく、その言葉を聞きたい。
副部長	5つあがっていますが、それぞれに色んな要因があり、それぞれに違うということで、同じように取り組むを進めるのは効果がないと思う。ですから、発言者にストレートに啓発に行くというのも効果ある方法もありますし、例えば、地域でしっかりと同推協のように、みんなが手を組んでいただいて、自分自身が間違えていたという意識を持つような、少しとまどろっこしい方法になるかもしれませんが、そういうことが必要な事象もあります。その辺は手法を変えながら取り組みが必要だと思っています。
議長	それはあかん。この問題は、同推協がみずから頑張ってもらっている。市としては、

	<p>どうなのかである。</p>
副部長	<p>この本質的な要因は、当初に対応した市の職員の対応がやはり十分でなかった、力量がなかったということがある。そこはしっかり、受け止めている。正しい認識をさらにさらに持つように、職員研修をしている。</p>
議長	<p>市役所で働いてどれくらい経ちますか。他人事と思っているように感じる。差別をなくそうと啓発してからどれくらいたつのか。どうするのですか。</p>
副部長	<p>ですから事案、事案ごとに効果的な対応をとらないと逆効果になってしまう。それはご理解いただきたいという意味です。</p>
支部員	<p>啓発が出来てないと感じている。差別をなくそうと思って、行政が一生懸命なってくれないからこんな事になっている。いつも「はい、はい」と聞いているが、本当に部落差別をなくそうと思ってくれているのですか。</p>
部長	<p>今お話しいただきましたが、私もこういう部落差別は残念で差別をなくすための取り組みを積極的にやらないといけないと思っています。誰が責任をもってということは、人権政策の部分では私が部長として、私が責任を持ってやります。</p>
議長	<p>それは長が動かないといけないと思う。</p>
課長	<p>次の概要説明</p>
議長	<p>これからどうするのか。</p>
課長	<p>終わるということではなく、引き続き、啓発を続けていきます。</p>
議長	<p>落書きについて犯人捜しは出来ないことなので、どうしたらなくなるのか。同和、在日と書かれていたが書かれた私達の気持ちはわかりますか。色々な地域があるが、子どもが見たときどうするのか。子ども、孫が見たときどう思うかわかるか。これは誰が責任とるのか。我々で解決するのか。数年前に高校生が草津駅の落書きをみて、隣保館に走ってきて訴えた。その子どもの気持ちどんな思いかわかるか。犯人を捜してほしいわけではない。啓発は誰がしているのか。私たちが行くと逆効果なのであなた達が行くようになっている。地域のものだけが苦しい思いをずっとしている。これから解決しないまま、前に進まないまま問題だけが増えていくのではないか。市協の旗開きの時にビラがまかれているが知っていますか。1月の恒例ですか。知らないのはおかしいです。落書きに対して犯人はつかまえられないが、これ</p>

	<p>からどうしていきますか。</p>
課長	<p>落書きも含めてインターネットもそうですし、あらゆる差別に向けて引き続き啓発に努め取り組んでいきます。</p>
議長	<p>長い時間になってきましたが、私達の思いと願いがこみ上げてきています。差別事象のことは、オブラートに包んだ言い方をしないで早く解決に向けて、啓発に力をしっかり入れてもらうように、議案のことについてはよろしくお願ひします。私達が啓発を頑張りますが、あなた達も私達の3倍も5倍も10倍も力を込めて動いてもうことを肝に銘じてください。今日は長い時間ありがとうございました。</p>